

平成23年に叙勲を受章された方々

(発令順)

瑞宝双光章

青木 藏男さん
(横浜市 地方自治・防衛功劳)



海上自衛隊として18年余在職され、海上防衛に尽力された後、御前山村議会議員として12年在職、総務常任委員会委員長、ダム対策特別委員会委員長等の要職を歴任され、ダム建設に尽力されるとともに、住民の福祉向上及び、村政の発展に貢献されました。

瑞宝双光章

湖口 喜久雄さん
(鷺子 警察功劳)



茨城県巡査を拝命以来、警部として退職されるまで42年の永きにわたり、豊富な経験と強い奉仕観念から地域住民の安寧な生活と秩序の維持に献身的に精励されるとともに、後進の育成や組織の体制整備に務められ、安全な地域作りに多大な功績を残されました。

瑞宝小綬章

細谷 篤正さん
(野中町 教育功劳)



県立小瀬高等学校教諭として奉職後、水戸農業高等学校教頭を経て、大宮高等学校長に昇格され、日立第一高等学校長として退職されるまで38年の永きにわたり、教育の振興発展に尽力され、退職後は、常陸大宮市教育委員、教育委員長としてご活躍されました。

旭日双光章

河野 洪勲さん
(鷺子 地方自治功劳)



美和村議会議員に当選以来、合併後も市議会議員として、33年余の永きにわたり在職、その間議長、副議長等の要職を歴任され、福祉センター建設等福祉施策に精励されるとともに、ささの湯や花立自然公園整備等の観光事業にも尽力され地域の振興発展に貢献されました。

瑞宝双光章

小田倉 和男さん
(宇留野 消防功劳)



大宮町消防団団員に任命以来、消防団分団長、消防団副団長を経て、消防団団長に昇格され、平成16年の合併後は市連合消防団団長、その後、市消防団団長として通算58年余の永きにわたり、自らの危険を顧みず、地域住民の生命、財産を守るため、消防活動に尽力されました。

瑞宝小綬章

鹿子幡 爲幸さん
(富岡 教育功劳)



吉田国民学校訓導を拝命以来、県立水戸養護学校教頭を経て、水戸聾学校長に昇格、県立盲学校長を務め退職されるまで、40年余の永きにわたり教育一筋に歩まれ、特に体育の振興に意を用い、各種大会で生徒が優秀な成績を修めるなど卓越した指導力を発揮されました。

旭日单光章

木村 新さん
(盛金 地方自治功劳)



山方町議会議員に当選以来、12年の永きにわたり在職。住民福祉の向上、町発展に尽力されました。また、久隆線道路愛護会長として環境整備に尽力するとともに、盛金漆生産組合を設立され、さらに奥久慈漆生産組合となった後も、組合長を務められ、高品質な奥久慈漆の振興発展に貢献されました。

瑞宝单光章

萩谷 紀男さん
(北町 警察功劳)



警視庁巡査を拝命以来、巡査部長、警部補を歴任され、42年の永きにわたり日夜献身的努力をもって職務に精励されました。主に防犯課に所属され、地域の犯罪防止及び、住民の防犯意識の啓発に積極的に取り組まれ、公共の安全と秩序の維持に貢献されました。

瑞宝小綬章

久和野 泰之さん
(那賀 電気通信行政功勞)



郵政省本省に勤務され、電波監理局等、情報通信関係部門に在籍し、35年の永きにわたり電波の監理、高度情報通信システムの開発研究、光通信網の全国整備等に精励され、新しい情報システムやコミュニティを支える情報通信網の整備に貢献されました。

瑞宝双光章

菊池 忠一さん
(山方 教育功勞)



久慈郡宮川村立宮川中学校教諭に奉職後、県教育委員会指導課指導主事等を経て山方町立長田小学校長に昇格。その後山方中学校長を歴任され40年の永きにわたり学校教育の進展に尽力されるとともに、退職後は山方町教育長を務め、町の教育発展に貢献されました。

瑞宝単光章

平塚 基さん
(下檜沢 消防功勞)



美和村消防団団員に任命以来、消防団分団長、消防団副団長を経て、消防団団長に昇格。34年の永きにわたり在職され、村民の生命、財産を守るため日夜献身的に消防活動に精励されるとともに、団員の資質向上にも努められ、消防団の発展に尽力されました。

瑞宝双光章

菊池 榮一さん
(泉 教育功勞)



助川国民学校訓導に奉職後、勝田市立堀口小学校教頭等を経て、美和村立氷之沢小学校長に昇格。大宮町立大場小学校長、玉川小学校長を歴任され40余年の永きにわたり教育振興に尽力されるとともに、地元地区体育協会長として住民の体力向上、地域活性化に貢献されました。

まちのできごと



▲左から県教育庁宮本教育次長、星加さん、綿引副市長、県自然博物館菅谷館長 ～於：県自然博物館～

ステゴロフォドン化石公開

1月2日、坂東市のミュージアムパーク茨城県自然博物館で、平成23年12月に常陸大宮市内で発見された古代ゾウ・ステゴロフォドン頭蓋化石の緊急公開が行われました。

頭蓋化石は、12月11日に小祝区在住の星加夢輝さんが地質調査中に発見した物で、県自然博物館と茨城大学が共同で発掘調査を行い、1650万年前に生息していた古代ゾウの物だということがわかりました。また、1月29日には文化センター

小ホールで、発掘調査の説明会が開催され、150人を超える方が、県内外から参加。市歴史民俗資料館大宮館では同日より2月5日まで特別公開が行われました。

ステゴロフォドンの頭蓋化石は、これまで国内では、茨城県、山形県、宮城県等8県で臼歯を中心に見つかっていますが、今回発見された物は、頬骨弓(頬骨)が初めて確認されるなど頭部の骨がほぼ完全な形で発見され、ステゴロフォドンの頭蓋標本としては世界屈指となるものとです。



飛躍を願い賀詞交歓会

1月5日、西部総合公園体育館で賀詞交歓会が開催され、約400人が出席し新年を祝いました。

交歓会では、平成23年中に善意銀行、奨学基金、ふるさと応援寄付、施設整備等に20万円（相当）以上の寄付をされた個人・団体への感謝状の贈呈と、叙勲受章者への記念品の贈呈が行われました。

また、市長あいさつのあと、箱根駅伝で4区を走った大宮中出身で早稲田大学4年生の大串顕史（あきふみ）さんが、特別ゲストとして登場し、会場を沸かせました。

式典終了後には、アトラクション



として、剣誠会（藤田久男会長）による抜刀道演武が行われました。静寂のなか、真剣で巻藁を斬る技が披露されると拍手がわき上がり、賀詞交歓会に花を添えました。

平成24年常陸大宮市出初式

1月8日、消防出初式がおおみや消防広場で開催されました。

千人を超える市消防職員や消防団員等が一堂に会し、士気の高揚と団結の強化を図り、今年一年の防災に対する決意を新たにしました。

また、功績をたたえ、団員の皆さんや退団者、消防協力者の方々197人に表彰・感謝状が贈呈されました。



放射線の基礎知識学ぶ

1月21日、市環境市民会議（平塚修会長）主催による常陸大宮市エコライフフォーラムが開催され、約380人の方が会場を訪れました。

会場となった緒川総合センターにはエコ展示コーナーが設けられ、緑のカーテンに取り組んだ事業所や個人宅の写真の展示そして各団体による資源を活用した環境に優しい取り組み等が紹介されました。

また、（財）原子力安全技術センターの田村勝裕氏を講師に迎え、「身の回りの放射線と環境影響」と題した講演会が行われました。

田村氏は、放射線と放射能の違いや自然界に存在する放射線等の人体

への影響等について解説。さらに原発事故の影響や福島原発の現状についても触れ、正しい知識と情報から冷静に判断することの重要性について講演いただき、有意義な時間を過ごすことができました。



地球にやさしい取り組みに
茨城県より表彰

平成23年に茨城県で実施された「ストップ！地球温暖化 いばらき緑のカーテンコンテスト」「いばらきエコチャレンジ2011」で入賞・入選した市内の方々を紹介します。

（敬称略）

■ストップ！地球温暖化
いばらき緑のカーテンコンテスト

◎生育部門

（団体の部）

優秀賞 美和総合福祉センター

佳作 消防本部、東消防署

（家庭の部）

入選 木村 秀子（東野）

佳作 高村 洋二（山方）

佳作 石川和東洋（北町）

■いばらきエコチャレンジ2011

◎事業所部門

（省エネ節電部門）

削減率優秀賞

サンウェーブ水戸（株）



昭和24年1月26日、奈良県の法隆寺金堂の貴重な壁画が焼損する火災が起きました。これを機に、翌年の昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年より、火災があった1月26日が文化財防火デーと定められました。そして、この日の前後に、毎年全国的に文化財防火運動が展開されています。

常陸大宮市においても、教育委員会と消防本部が合同で、市内合計34カ所（大宮7、山方3、美和9、緒川8、御前山7）の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

国民共有の貴重な財産である文化財を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

文化財を災害から守る！

平成24年3月で納税組合が廃止になります

常陸大宮市の納税組合制度は、昭和37年に発足し、市税等の納税意識の高揚や納期限内納付などの納税奨励に努め、円滑な市政を運営していく上で大きな役割を果たしてきました。

しかし、組合及び組合員数の減少や組合長の後継者不足そして口座振替制度の普及・定着、さらに、個人情報への関心が高まっていること等納税環境の変化を踏まえ行政運営の見直しを行った結果、納税組合を平成24年3月で廃止することとなりました。

市納税組合におかれましては、長年にわたり市税等の納付推進にご理解、ご協力いただきありがとうございました。

平成24年4月以降納税通知書は、市役所から郵送により直接、各納税義務者に送付されます。

市では、安全・安心で、大変便利な口座振替による納税を推進しています。この機会にぜひ口座振替をご利用ください。

■問い合わせ■

税務徴収課 特別徴収対策グループ
☎52-1111(内線 236・237)



常陸大宮の新たな一皿が完成！！！！

茨城大学人文学部社会科学科4年

津田 彩織さん

茨大生が常陸大宮市で農作業を始めて2年目。私は4年生として新たな発展をみせた活動を卒業研究にまとめました。

都市農村交流や「西塩子回り舞台」「ふるさと探検隊」のお手伝いから始まった活動が地域と学生を結び、学生が畑をお借りするようになりました。

その畑が、昨年は私たちと、農家の方たち、大成女子高校、文化デザイナー学院の学生をつなぎ、料理が生み出されて、平成23年11月6日、水戸で開かれた食のイベント「アルベトレッペ食堂」で披露されたのです。

「場」を扱う地理学を研究してきた私は、小さな1つの畑という「場」が様々な人々を結びつけた展開の過程を分析し、改めて「場」の持つ力を見いだすとともに、地域と大学の連携の意義を確認しました。

